

令和4年度日立地区安全衛生大会を開催

9月9日日立シビックセンター音楽ホールにおいて、令和4年度日立地区安全衛生大会（兼、全国労働衛生週間準備打合せ）を、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で開催し、会員事業所の役員様、ご担当者様をはじめ関係者を含めた140名余の参加を頂きました。

- ・大会は、今川副会長の開会のことばで開始し、表彰式、実施要綱等の説明、特別講演で、概要は下記のとおりです。

（一社）日立労働基準協会長表彰式

安全衛生活動に積極的に取り組まれた優良事業場3事業場と、安全衛生講習の講師として長年ご指導をいただいた2名の功績を称え、椎名会長より表彰状と記念品が贈呈されました。誠にありがとうございました。

優良事業場賞

株式会社 日立茨城テクニカルサービス 殿
NOK 株式会社 北茨城事業場 殿
株式会社 木村管工 殿



(表彰式)

（一社）日立労働基準協会：椎名会長ごあいさつ（概要）



(椎名会長)

「新型コロナの影響により3年ぶりの開催となり関係各位のご尽力と、ご参加の皆様のご協力により無事開催できたことに感謝申し上げますとともに、9月の準備期間、10月1日から7日の本週間の各内容を、職場で展開いただきたい。」

日立労働基準監督署：狩野署長様ごあいさつ（概要）



(狩野署長)

「脳心臓疾患、精神障害の労災認定件数は高い数字で推移し、一般健康診断の有所見率は5割を超え年々増加している状況にあり、心と体の両方の健康づくりを進め、職場で一丸となって誰もが安心して健康に働ける職場をめざしていきましょう。」

日立労働基準監督署 山川第三方面主任監督官説明（概要）

「労働衛生週間実施要綱等（9月準備期間及び10月1～7日までの本週間の実施事項（*）及び労働災害の発生状況等）」について、ご説明いただきました。

*実施事項詳細は、本ホームページ右上の労働衛生週間の欄のなかの「詳しくはこちら↓厚生労働省 mhlw…」をクリックしてご確認ください。



(山川第三方面主任監督官)

茨城労働局健康安全課 跡部衛生専門官説明（概要）

「治療と仕事の両立支援対策の取り組みについて」

(概要)

「治療が必要であっても働く意欲のある労働者にとっては、必ずしも、治療のため退職するというのをすぐを選択するのではなく、仕事を継続しながら治療を行っていきけるよう、事業場において、職場環境の改善を行うことが望まれます。」



(跡部衛生専門官)

特別講演 「人生100年時代に向けた安全衛生対策」(概要)

茨城産業保健総合支援センター、産業保健相談員 田中厚子先生

(ご講演いただいた概要の一部を、掲載させていただきました。)

- ・ 65歳以上の労働人口は、2015年750万人から2020年920万人に増加し、労働力人口の13.4%を占めることになり、今までの対策では不十分となること。
- ・ 人生100年時代にむけて、環境整備に加え、**体を動かす（運動、身体活動）**こと、**栄養バランスよく、3食しっかり食べる**こと、**健康体力状況のは握をすること**により攻めの取組を、全年齢の労働者に対して実施する必要があること。
- ・ これからの対策は、若年期から能力低下を予防するため、会社全体で取り組むことが大事であること。
- ・ 健康職場の形成には、職場のコミュニケーションを活性化させる必要があり、風通しの良い職場づくり、管理者がコミュニケーション力を向上させることが重要です。



(田中厚子講師)